# 中国のビール輸入、10月までに17.9%増

輸入ビールの平均額は1リットル当たり10.09人民元で、輸出の平均額4.68人民元の2倍超となった

2026年11月20日（金）



中国のビール貿易は1月から10月にかけて拡大し、輸入・輸出ともに2025年の同じ期間から増加した。一方、1リットル当たりの平均額は輸出入で逆の動きを示した。

China International Beer Networkが11月18日水曜日に公表した統計によると、中国は2026年の最初の10カ月間にビールを3億5,788万リットル輸入し、前年同期比17.9%増となった。輸入額は名目で36億1,075万人民元に達し、20.8%増加した。

輸出も増加したが、金額の伸びは数量の伸びを下回った。中国は1月から10月にかけてビールを6億8,529万リットル輸出し、2025年同期比で7.4%増加した。輸出額は名目で1.6%増の32億496万人民元だった。

数量の伸びと金額の伸びに差があることから、貿易の輸出入それぞれで異なる傾向がうかがえる。輸入は数量より金額の伸びが大きく、輸入の平均額は前年同期比2.46％増の1リットル当たり10.09人民元となった。輸出では逆の動きが見られた。輸出量の伸びが輸出額を大きく上回り、輸出の平均額は5.40％減の1リットル当たり4.68人民元に低下した。

つまり中国は、海外に販売した量を大きく下回る量のビールを輸入した一方、輸出で得た額を上回る金額を輸入に支払ったことになる。公表された名目貿易額に基づくと、この期間の輸入ビールの1リットル当たり平均額は、輸出ビールの2倍を超えた。

公表された前年同期比の伸び率を用いて算出すると、輸入量は2025年1～10月に比べて約5,433万リットル、輸出量は約4,722万リットル増加した。これらは丸められた伸び率から導いた推計値であり、税関の正確な集計値ではなく概算として捉える必要がある。

10月の統計では、月間の貿易量が一段と大きく増加した。10月の輸入量は3,840万リットルで、2025年10月比43.6％増だった。輸出量は7,201万リットルとなり、同じ基準で27.6％増加した。公表データには9月との前月比は含まれていない。

国別の内訳は公表されていないため、中国市場でどの海外供給国がシェアを伸ばしたのか、また輸出先のうちどこが輸出量の増加を占めたのかは分からない。こうした詳細がなければ、プレミアム輸入品の増加、容器サイズの変化、低価格帯の輸出商品の販売増、あるいは市場ごとの契約条件の違いのどれが変化の要因なのか、数字だけから判断することはできない。

1リットル当たりの平均額の変化を、ビール価格の直接的な指標とみなすべきでもない。貿易額は、商品構成、包装、税関申告上の運賃・保険の扱い、仕向け先市場、為替の影響によって変動する。輸入の平均額上昇は、プレミアムビールやスペシャルティビールの構成比が高まったことを示す可能性がある。一方、輸出の平均額低下は、低価格商品の比率が高まったことや、価格に敏感な市場向けの大口出荷が増えたことを反映している可能性がある。

また、このデータから、中国のビール消費に占める輸入ビールの割合を結論づけることはできない。貿易統計が示すのは国境を越えた出荷であり、国内販売全体、生産、在庫の変化、小売需要ではない。

China International Beer Networkは、この統計をビールの輸出入データとして紹介し、11月18日水曜日に輸入・輸出の両方の数値を公表した。同メディアは業界向けの二次情報源で、掲載ページでは情報源として自らを記しているものの、元となる税関統計表への直接リンクはない。そのため、数値は一次情報となる税関発表との照合を待つ段階にある。